

2021年度(第1-2四半期) 事業の報告書

(2021年4月1日▶2021年9月30日)



【表紙写真について】
当社運航の撒積船“NSU BRAZIL”
(載貨重量399,821トン)

証券コード 9110



NSユナイテッド海運株式会社



代表取締役社長

谷水一雄

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

事業環境に関して

当中間期（第2四半期累計期間）における世界経済は、先進国を中心に新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み、行動規制の緩和に伴う楽観的な見通しを背景に回復局面が継続いたしました。外航海運市況のうち、ドライバルク市況は、世界経済の回復や旺盛な鉄鋼需要に加えて、中国の鉄鋼原料調達先多様化に伴う輸送トンマイルの増加、港湾検疫強化や船員交代規制による滞船増の影響で船腹需給はタイトとなり、当中間期を通じ全船型で堅調に推移しました。VLGC（大型LPG運搬船）市況は、世界経済の回復から6月頃までは上昇局面にあったものの、船腹需給は緩和傾向となり総じて低調な推移となりました。一方、内航海運市況は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から激減した国内粗鋼生産が回復したことで鉄鋼原料や鋼材輸送需要が伸び、堅調に推移しました。燃料油の平均消費価格につきましては、高硫黄C重油がトン当たり約406ドル（前年同期比では約145ドル上昇）、適合燃料油がトン当たり約522ドル（前年同期比では約150ドル上昇）となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で109円33銭と、前年同期比では1円66銭の円安となりました。

当中間期の業績・配当に関して

このような環境下、長期契約に基づく安定収益部分に加え、昨年度の構造改革により収益力を強化したフリー船隊が市況上昇を享受できたことで、当中間期の連結業績は、売上高897億円、営業利益113億円、経常利益105億円、親会社株主に帰属する四半期純利益87億円となり、前年同期比で増収増益となりました。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、今年度も中間配当の実施を決定し、1株あたり95円とさせていただきますこととしました。

通期の見通しに関して

2022年3月期の連結業績は、売上高1,860億円、営業利益230億円、経常利益220億円、親会社株主に帰属する当期純利益195億円を予想しております。また、期末配当につきましては未定ながら、連結業績に対する配当性向を概ね30%とする当社方針に基づき配当する予定です。なお第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率は110円、燃料油価格はC重油価格をトン当たり460ドル、適合燃料油をトン当たり570ドルとしております。

経営計画に関して

2020年5月に策定した中期経営計画「FORWARD 2030」では、2030年に向け、気候変動の抑制や資源循環の促進など持続可能な社会の実現に向けた機運の高まりや、デジタルイノベーションの進展など、事業環境の大きな変化に対応するため、ESGの取り組みを中核に据え、「安全運航」「環境保全」「お客様満足度」「技術イノベーション」「人材の確保・育成」「コーポレートガバナンス」をサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）として定めました。風力を活用する低燃費技術「鋼帆船プロジェクト」、次世代船用燃料として期待される「アンモニア燃料船プロジェクト」など積極的に新技術導入、研究開発に取り組みしております。また、内航部門におきましては9月末に、国内初となるLNG燃料専焼エンジンとバッテリーを組み合わせたハイブリッド推進システム船の建造を決定しました。株主の皆さまにとって、より一層魅力的な事業会社となるために、グループ一体となって中期経営計画の達成に向けて進んで参ります。

●外航海運事業

ケープ型撒積船市況は、世界経済の回復に伴う旺盛な鉄鋼需要に支えられた一方で、新型コロナウイルス感染症拡大に起因する港湾検疫強化、船員交代の制限等で船舶の待機時間が増加し船腹供給が絞られたこともあり、主要5航路平均用船料率では4-6月には平均3万ドル強で推移した後、7-9月は7万ドルを超える水準まで上昇しました。こうしたなか、国内外の顧客に向けた効率配船及び貨物の中・短期輸送契約を獲得するなど営業活動を進めた結果、当初の計画を大幅に上回ることができました。

パナマックス型撒積船市況は、昨年度から続く穀物の荷動き増、中国の石炭輸入ソース多様化等に伴う市況高騰が続き、主要5航路平均用船料率は7月に日額3万8千ドル台を記録しました。こうした状況下、支配船腹を国内外の顧客向けに投入する一方、市況上昇メリットを取り込み、当初の計画を達成することができました。

ハンディ型撒積船は、新型コロナウイルス感染症拡大による運航上の制約を受けながらも、主に米国・中国の旺盛な海上輸送需要を背景とした海運市況高騰の恩恵を受けました。往航主力貨物である日本出し鋼材では、出荷量が横ばいのなか東南アジア・北米・南米向けの集荷を増やすことができました。また、復航貨物にあたる一般バルク貨物輸送においても市況動向をとらえた輸送契約の獲得と効率配船に努めた結果、当初の計画を大幅に上回ることができました。

近海水域における小型船は、主力貨物の日本出し鋼材、中国・東南アジアからの一般バルク貨物ともに海上輸送需要は当初想定水準を維持し、近海小型船市況も春先からの本格的な上昇後も堅調に推移いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大による港湾規制の強化で中国を筆頭に各港の長期滞船がありましたが、効率配船に努めることで、当初の計画を達成することができました。

VLGC（大型LPG運搬船）は、全て定期貸船契約により収益の安定化を図っています。一部の船舶が市況連動契約となっており、5-6月にかけて一時的な市況の上昇がありましたが、当中間期は総じて低調に推移したことから当初の計画を僅かに達成することができませんでした。

外航海運事業



■売上高

779億33百万円
(前年同期比 41.0%増)



■営業利益

107億2百万円
(前年同期比 807.7%増)

内航海運事業



■売上高

117億69百万円
(前年同期比 12.6%増)



■営業利益

5億89百万円
(前年同期比 1.2%減)

●内航海運事業

ドライバルクにつきまして、鉄鋼関連貨物の輸送量は自動車を中心とした製造業や建設部門の回復が牽引し、鉄鋼原料および鋼材輸送部門ともに当初の計画を達成することができました。セメント関連貨物の輸送量は建設需要増を取り込むことで増加し、電力関連貨物の輸送量も夏季の電力需要増等の要因により当初の計画を達成することができました。

タンカーにつきまして、LNG輸送は省エネ化の進展、新型コロナウイルス感染症拡大により需要が減少するなか効率運航に努めましたが、本船トラブルによる北海道航路での不稼働発生もあり輸送量は当初の計画を達成することができませんでした。LPG輸送は、民生用は夏期需要減退期を迎え、工業用と化学原料用も需要減退により輸送量は低迷しましたが、全体としては当初の計画を上回りました。

連結財務諸表

四半期連結損益計算書（要旨）（第2四半期連結累計期間）（単位：百万円）

Point	科目	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
1	売上高	65,722	89,698
	売上原価	61,155	75,637
	売上総利益	4,567	14,061
2	一般管理費	2,783	2,760
	営業利益	1,785	11,301
	営業外収益	319	409
	営業外費用	1,353	1,245
	経常利益	751	10,464
	特別利益	3,030	363
	特別損失	6	-
	税金等調整前四半期純利益	3,776	10,827
	法人税等	849	2,108
	四半期純利益	2,927	8,719
	親会社株主に帰属する四半期純利益	2,927	8,719

Point 1 売上高

+23,976百万円

世界経済の回復に伴いドライバルク市況が全船型で上昇したことが主要因で、前年同期比で大幅な増収となりました。

Point 2 営業利益

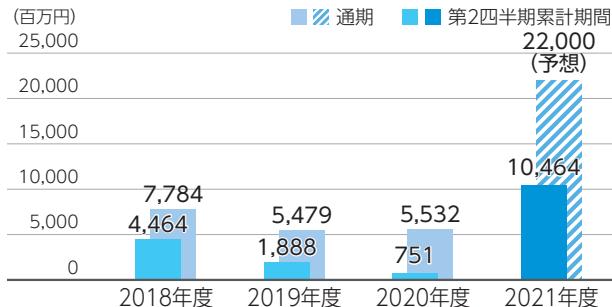
+9,516百万円

外航部門のドライバルク市況の上昇が主要因で、前年同期比で大幅な増益となりました。

売上高



経常利益



第2四半期連結貸借対照表 (要旨) (単位:百万円)

科目	前期末 2021年3月31日現在	当第2四半期末 2021年9月30日現在
Point 3 資産の部		
流動資産	61,109	76,148
固定資産	209,651	198,969
資産合計	270,760	275,117
負債の部		
流動負債	49,931	53,368
Point 4 固定負債	124,427	117,315
負債合計	174,358	170,683
純資産の部		
株主資本	96,833	104,385
その他の包括利益累計額	△431	49
純資産合計	96,402	104,434
負債純資産合計	270,760	275,117

Point 3 流動資産
+15,039百万円

現金及び預金、並びに海運業未収金の増加が主要因です。

Point 4 固定負債
△7,112百万円

長期借入金の減少が主要因です。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
Point 5 営業活動による キャッシュ・フロー	12,529	12,157
投資活動による キャッシュ・フロー	△13,675	1,652
Point 6 財務活動による キャッシュ・フロー	12,133	△10,263
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△92	19
現金及び現金同等物の 増減額	10,895	3,565
現金及び現金同等物の 期首残高	19,753	27,613
現金及び現金同等物の 四半期末残高	30,649	31,178

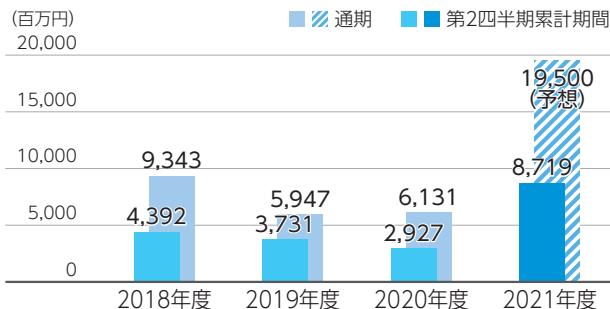
Point 5 営業活動による
キャッシュ・フロー
12,157百万円(収入)

四半期純利益及び減価償却費が主要因です。

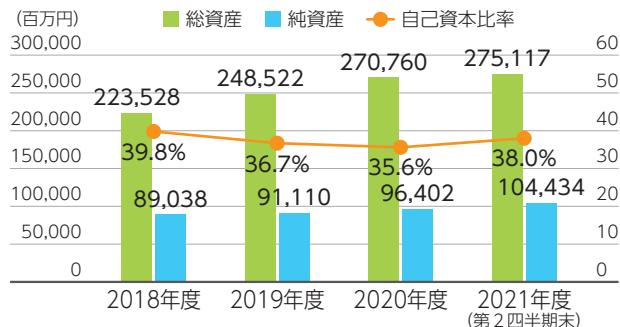
Point 6 財務活動による
キャッシュ・フロー
△10,263百万円(支出)

長期借入金の返済による支出が主要因です。

親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



総資産・純資産・自己資本比率



NSU MILESTONE6年連続無事故・無災害・無疾病達成



当社では1年間を通し、船上での「無事故・無災害・無疾病」を達成した船舶*に対し、2014年より社内表彰制度を設けております。制度制定以来、毎年対象船舶には賞状および記念品を授与し、乗組員の安全な航海への感謝を伝えるとともに、船上での安全意識の啓蒙を継続しています。

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日の期間）は、表彰対象船15隻のうち、NSU MILESTONEが2015年度より6年連続で無事故・無災害・無疾病を達成し、本船乗組員に表彰状と記念品が授与されました。

日頃からの安全運航への尽力について乗組員へ感謝するとともに、より一層の船上における安全意識の向上を目指してまいります。

*当社管理船のうち1年間、海難事故や運航への支障が発生せず、かつ乗組員に下船を伴う疾病や労働災害のなかった船。

船長：Le Hong Chien
船籍：パナマ
船員：24名（ベトナム人全乗）
載貨重量トン数：250,446メトリックトン

設立年月日 1950年4月1日
主要な事業内容 外航貨物海上運送事業およびこれに関連または付帯する事業

資本の額 103億円
上場取引所 東京（市場第一部）
本社 〒100-8108

東京都千代田区大手町一丁目5番1号
 Tel. (03) 6895-6400（番号案内席）

駐在員事務所 中国（上海）、ベトナム（ハイフォン）
海外法人 英国（ロンドン）、米国（コネチカット）、中国（香港）、シンガポール（シンガポール）、フィリピン（マニラ）

従業員数 陸上163名、海上47名、計210名
 （出向者は除いております）

役員

代表取締役社長	谷水一雄	取締役（社外）	山中一馬
取締役専務執行役員	左光真啓	取締役（社外・独立）	木下雅之
取締役専務執行役員	小山田充宏	取締役（社外・独立）	大西節
取締役常務執行役員	宮井成彦	取締役（社外・独立）	中村勇
取締役執行役員	藤田透		
常勤監査役	中田義文	監査役（社外・独立）	三谷康人
監査役（社外）	与田直樹	監査役（社外）	山本昌平
常務執行役員	阿諏訪直樹	執行役員	紀平徹
常務執行役員	北里真一	執行役員	中嶋康雄
執行役員	金光潔	執行役員	高見隆昌
執行役員	福田雄二		

主要なグループ会社

NSユナイテッド内航海運株式会社	内航海運業
NSユナイテッドタンカー株式会社	内航海運業
NSユナイテッドマリンサービス株式会社	安全監督・新造船建造監督業 船員派遣事業
NSユナイテッドビジネス株式会社	総務・経理業務受託
NSユナイテッドシステム株式会社	情報システムの開発・保守業

株式の状況

発行済み株式の総数 23,970,679株
株主数 12,208名（単元未満株主も含みます）
大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本製鉄株式会社	7,861	33.36
日本郵船株式会社	4,324	18.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,107	4.70
株式会社みずほ銀行	798	3.39
東京海上日動火災保険株式会社	568	2.41
新健海運股分有限公司	504	2.14
JPMC GOLDMAN SACHS TRUST JASDEC LENDING ACCOUNT	340	1.44
株式会社三菱UFJ銀行	259	1.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	219	0.93
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	197	0.84

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てております。
 2. 当社は自己株式404千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 3. 出資比率は自己株式（404千株）を控除して計算しております。

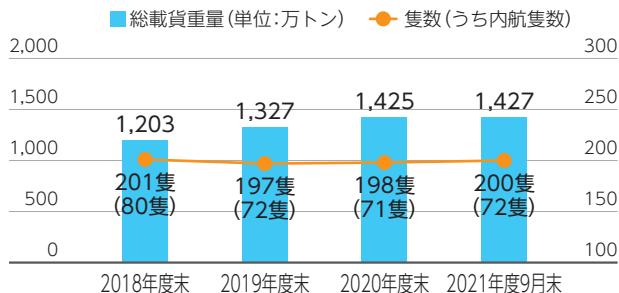
2021年度第2四半期累計期間当社グループ船隊整備実績 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総載貨重量(トン)
外航	0隻	0
内航	1隻	1,750

2021年度(第3-4四半期)当社グループ船隊整備計画 (5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総載貨重量(トン)
外航	1隻	88,783
内航	1隻	900

当社船腹量の推移(連結)



株主メモ

決算期日 3月31日 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
期末配当金支払株主確定日 3月31日
(中間配当金支払株主確定日 9月30日) 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会開催日 6月下旬
本店証券代行部
同総会権利行使株主確定日 3月31日

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電話お問い合わせ先		☎フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00~17:00)
各種手続取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネット ブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

基準日 上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。
単元株式数 100株
(2017年9月27日より取引所における売買単位が変更となっております)
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.nsuship.co.jp/>
(ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、東京都において発行される日本経済新聞に掲載されます)

証券コード 9110



環境にやさしい植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080
www.fsc.org



(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しております。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな情報をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



【トップページ】

<http://www.nsuship.co.jp/>

NS United REPORT

本レポートは、当社内外の全てのステークホルダーの皆さまに、当社グループ全体の経営戦略やガバナンスなど持続的成長へ向けた取り組み、また、安全運航や環境保全活動をはじめとする社会的な要請にどのように対応しているかを、総合的にご理解いただくことを目的として作成しています。
当社ホームページでPDF版をご覧いただけるほか、冊子版をご希望の方は、「エコほっとライン」より無料でご請求いただけます。ぜひお手に取ってご覧ください。

https://www.ecohotline.com/products/detail.php?product_id=3161



NSユニテッド海運株式会社

〒100-8108 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア ウェストタワー
TEL 03-6895-6400